

第3回定例会

平成十七年第三回（九月）伊予市議会定例会を、去る九月八日から二十八日まで二十一日間の会期で開催した。

今期定例会では、補正予算案や条例制定案等議案十七件、報告案六件を審議し、いずれも原案を可決・承認・受理・同意した。

平成十六年度決算案については、決算審査特別委員会を設置し、継続審査とした。

また、議員提出の意見書案一件については、原案可決とした。

計 報

市議会議長 日野 貞博議長が
8月24日に御逝去されました。
心からお悔やみ申し上げます。

議長に

田中 裕昭氏選任



議会初日（九月八日）、議長長の死去に伴う選挙が行われた結果、田中裕昭氏が選任された。

平成17年度補正予算

	補正予算額	補正後の総額
一般会計	2億9,588万円	177億813万9千円
簡易水道	662万6千円	6億1,894万7千円
水道事業	790万円	7億742万1千円

市長の報告から

山鳥坂ダム建設事業に係る利水者負担金の還付等については、平成十七年七月八日付で国土交通省四国地方整備局と中予広域水道企業団の間で協定書が交わされ、ダム建設事業に係る負担金について、負担額の九一・四三％に当たる十九億一、三三三万一、九三三円が本年度から三年間で還付されることとなった。

本市への還付金の配分額については、確定次第お伝えしたい。

総合計画の策定については、八月十九日、二十人の委員を委嘱、任命し、第一回の会議を行った。会長に伊予地区学識経験者の西岡氏、副会長に中山地域学識経験者の亀井氏をそれぞれ選任した。

委員の皆さんには、これから来年度末までの足掛け二年にわたり、新伊予市の基本構想及び基本計画、いわゆる総合計画の策定と推進に関すること、市民の行政への参画に関することなど重要な事項について調査、審議をしていただくこととなっている。

来年度中には計画を定める

必要があるため、積極的な協議を重ねていただき、早期に報告をいただきたいと期待している。

あさひ・ふたば保育所の統合保育所として、平成十六年度から二カ年で建築していた「ぐんちゅう保育所」が九月一日開所した。

新しい保育所は、木造二階建てで、太陽がいつぱい降り注ぐ、温かく明るい施設となっている。

また、乳児室や一時保育室を整備するとともに、子育て支援センター「あおぞら」も移転・オープンした。これらの新しい施設を拠点に、さらに保育の充実を図っていきたい。



新しくなったぐんちゅう保育所

県内屈指の海水浴場として若者を中心に、人気の高い五色姫海浜公園は、海開き以来、猛暑が続いたこともあり、約十三万人の利用客でにぎわい、今年も無事故でシーズンを終えることができた。シーズン中の七月十七日には、サマーフェスティバルが開催され、ビーチバレー大会のほか釣り大会、潮干狩り等が行われ、約六千人の方々にぎわった。

JR駅前街の交流拠点「町家」もオープン一年目の平成十六年度は、市内外から予想を上回る大勢の方に利用していただき、単年度収支においては二七万九、五三六円の利益が出たと報告された。

昨年度は、客数・売上げ高の面で目標を上回り、集客という一定の成果は得られたが、「町家」の使命を発揮する上でこれから非常に重要な時期となってくる。

今後とも、販売促進等の調査研究、運営上の諸問題について、専門家の意見も取り入れながら、施設の魅力アップに努め、中心市街地活性化の核としてその効果が十分果たせるよう、商店街・関係機関との連携を密にしたい。